

## 平成26年度授業シラバスの詳細内容

科目名(英)	情報特別演習5(Special Exercises in Media Technologies 5)		授業コード	C194601
担当教員名	伊藤 研、赤星 哲也、濱田 大助、星芝 貴行、坂井 美穂、足立 元、坪倉 篤志、吉森 聖貴、福島 学		科目ナンバリングコード	
配当学年	3	開講期	前期	
必修・選択区分	選択	単位数	1	
履修上の注意または履修条件	<p>課題に対する取り組み等を重視します。出席を欠かさないで下さい。          全員、履修してください。(学科推奨科目)          履修制限: 当該学年次のみ履修可、再履修: 不可          就職基礎講座の履修登録と取り組みが必須になります。</p>			
受講心得	授業時はもちろん、学内外での取り組みも重要になります。			
教科書				
参考文献及び指定図書	<p>就職基礎Drill 実務教育出版(2年前期 社会参画応用にて配布)          就職活動の神様の一般常識 問題集 ユーキャン就職試験研究会          他必要に応じて          就職活動の神様の一般常識 速習テキスト ユーキャン就職試験研究会          中3五科(10分間基礎ドリル20) 学研教育出版          就職活動の神様の一般常識これだけ! 一問一答集 ユーキャン就職試験研究会          就職活動の神様のSPI2問題集(ユーキャンの就職試験シリーズ)          就職活動の神様の一般常識「超」定番の1,000問プラス最新時事(ユーキャンの就職試験シリーズ)</p>			
関連科目	各種専門科目、社会参画系授業、情報特別演習(1~8)、研究ゼミナール			

授業の目的	4年間で取り組んでいるキャリア教育プログラムの3年目前期のステップです。就職活動を予定している学生は就職活動に向けた最終的な準備期間です。スムーズに就職活動に入れるよう、準備に取り組めます。
授業の概要	<p>本授業では、就職活動に向けた「実践的能力の修得」と、実際に就職活動を行なう「業界や企業」を決めることが主目標になります。具体的には、「面接練習」、「グループディスカッション練習」等を繰り返し実践的練習を行ないます。また、定期的に「一般常識問題」や「時事問題」に取り組み、知識を深めます。学期後半に一般常識と時事問題の小テストを行ないます。これらの取り組みから、目前に控えた、就職活動に向けた準備に取り組めます。</p> <p>主テーマ 具体的な就職活動に向けた実践的学習</p>

○授業計画	
学修内容	学修課題(予習・復習)
<b>第1週: ガイダンス</b> 本授業での取り組みについて説明を行ないます。	配布資料、活動報告書。進路希望調査、48か月計画
<b>第2週: 企業訪問報告</b> 就職委員が訪問した企業について、企業紹介を行い、事業内容について紹介します。また学生諸君のキャリアとの関連についても解説します。	活動報告書
<b>第3週: ワーク① 一般常識小テスト(数学)</b> 各自で計画立てて、所定のワークや小テスト、小グループでの実践的演習、さらには各学生毎に担任と就職委員を含めた三者面談で将来について面談に取り組めます。	活動報告書
<b>第4週: 企業の方々のお話①、九州の企業</b> 企業で活躍されている方々から、業界の実際についてお話をいただきます。講演後の質疑応答時間にて、質問能力などの育成も行います。	活動報告書
<b>第5週: 企業の方々のお話②</b> 企業で活躍されている方々から、業界の実際についてお話をいただきます。講演後の質疑応答時間にて、質問能力などの育成も行います。	活動報告書
<b>第6週: ワーク② 時事小テスト(4月) 三者面談</b>	

各自で計画立てて、所定のワークや小テスト、小グループでの実践的演習、さらには各学生毎に担任と就職委員を含めた三者面談で将来について面談に取り組みます。	活動報告書	
<b>第7週：ワーク③ 一般常識小テスト(英語) 三者面談/(面接練習①)</b> 各自で計画立てて、所定のワークや小テスト、小グループでの実践的演習、さらには各学生毎に担任と就職委員を含めた三者面談で将来について面談に取り組みます。	活動報告書	
<b>第8週：面接練習①/(ワーク③ 一般常識小テスト(英語) 三者面談)</b> 各自で計画立てて、所定のワークや小テスト、小グループでの実践的演習、さらには各学生毎に担任と就職委員を含めた三者面談で将来について面談に取り組みます。	活動報告書	
<b>第9週：ワーク④ 時事小テスト(5月) 三者面談</b> 各自で計画立てて、所定のワークや小テスト、小グループでの実践的演習、さらには各学生毎に担任と就職委員を含めた三者面談で将来について面談に取り組みます。	活動報告書	
<b>第10週：インターンシップ体験談・説明会</b> 昨年度、インターンシップに取り組んだ学生から、インターンシップの体験談の発表を聞き、企業の中での業務や、企業について知ります。さらに、今年度のインターンシップ受け入れ企業についても学習し、自主的にインターンシップに取り組みます。	活動報告書	
<b>第11週：ワーク⑤ 一般常識小テスト(社会) 三者面談/(グループディスカッション)</b> 各自で計画立てて、所定のワークや小テスト、小グループでの実践的演習、さらには各学生毎に担任と就職委員を含めた三者面談で将来について面談に取り組みます。	活動報告書	
<b>第12週：グループディスカッション/(ワーク⑤ 一般常識小テスト(社会) 三者面談)</b> 各自で計画立てて、所定のワークや小テスト、小グループでの実践的演習、さらには各学生毎に担任と就職委員を含めた三者面談で将来について面談に取り組みます。	活動報告書	
<b>第13週：ワーク⑥ 時事小テスト(6月)</b> 各自で計画立てて、所定のワークや小テスト、小グループでの実践的演習、さらには各学生毎に担任と就職委員を含めた三者面談で将来について面談に取り組みます。	活動報告書	
<b>第14週：ワーク⑦ 一般常識小テスト(国語)</b> 各自で計画立てて、所定のワークや小テスト、小グループでの実践的演習、さらには各学生毎に担任と就職委員を含めた三者面談で将来について面談に取り組みます。	活動報告書	
<b>第15週：ガイダンス・期末小テスト(時事 前期全範囲)</b> 前期の締めくくりとして、ガイダンスを行います。また前期中の時事問題を対象とした期末小テストを行います。	学習計画	
<b>第16週：期末試験</b>		
<b>授業の運営方法</b>	(1)授業の形式	「演習等形式」
	(2)複数担当の場合の方式	「オムニバス方式」
	(3)アクティブ・ラーニング	「アクティブ・ラーニング科目」
<b>備考</b>		

<b>○単位を修得するために達成すべき到達目標</b>	
<b>【関心・意欲・態度】</b>	具体的な就職活動に向けた実践的学習に取り組みます。
<b>【知識・理解】</b>	実践的な就職活動に向けた、知識の習得
<b>【技能・表現・コミュニケーション】</b>	演習を通して集団面接の実践能力やグループディスカッション能力を育成
<b>【思考・判断・創造】</b>	就職活動に向けた実践的な判断ができる

○成績評価基準(合計100点)			合計欄	100点
到達目標の各観点と成績評価方法の関係および配点	期末試験・中間確認等 (テスト)	レポート・作品等 (提出物)	発表・その他 (無形成果)	
<b>【関心・意欲・態度】</b> ※「学修に取り組む姿勢・意欲」を含む。		10点	5点	
<b>【知識・理解】</b> ※「専門能力(知識の獲得)」を含む。	60点			
<b>【技能・表現・コミュニケーション】</b> ※「専門能力(知識の活用)」「チームで働く力」「前に踏み出す力」を含む。		10点	5点	
<b>【思考・判断・創造】</b> ※「考え抜く力」を含む。		10点		
<b>(「人間力」について)</b> ※以上の観点に、「こころの力」(自己の能力を最大限に発揮するとともに、「自分自身」「他者」「自然」「文化」等との望ましい関係を築き、人格の向上を目指す能力)と「職業能力」(職業観、読解力、論理的思考、表現能力など、産業界の一員となり地域・社会に貢献するために必要な能力)を加えた能力が「人間力」です。				

○配点の明確でない成績評価方法における評価の実施方法と達成水準の目安	
成績評価方法	評価の実施方法と達成水準の目安
レポート・作品等 (提出物)	レポートの提出、レポートの記載内容
発表・その他 (無形成果)	課題やワークへの取り組み